

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

道の駅について

岡部 賢士 議員

議員 平成31年、国体前の開業に向けて順調か。進捗状況を。

総合政策部長 基本計画策定検討会議を開催し、意見を伺っているところ。地質調査、護岸調査は現在実施中。国や県との協議も順次行っており、スケジュール通り進行している。

団体と連携を強めたい。

議員 龍ヶ崎のうな井は、牛久沼がうな井発祥の地という非常に強い武器、オリジナリティを持っている。道の駅開業という絶好のタイミングに合わせ、地域の宝となるような取り組みを進めるよう強く要望する。道の駅の名称について、どのような計画か。

総合政策部長 自治体名を冠したものが望ましいと考えている。皆さんに愛される、認知度が高まるような名称にしたい。

議員 一般の公募によって決める事を提案したい。市民の機運を高める点でも有効な手段。市民参加のまちづくりの推進という市の戦略施策にも合致する。是非、ご検討を。

掲載以外の質問項目
◆市民参加、協働のまちづくりについて

妊婦の歯科検診について

深沢 幸子 議員

議員 妊婦は重度の歯周病だと低体重児・早産のリスクが高いので、安心・安全な出産の為に妊婦の無料歯科検診を実施してはいいかがか。

告知があるので、調査研究していきます。

議員 市民の皆様には、健康福祉部長 歯周病が胎児の成長に悪影響を及ぼし、早産や低体重児の出産の原因になるとの報告があるのか。

健康福祉部長 市広報やホームページで周知していきます。

脳脊髄液減少症について

議員 脳脊髄液減少症は、起立性調節障害等と似ているため、判断しにくい病気。是非、教職員の学びの場の検討をお願いしたいかがか。

健康福祉部長 脳脊髄液減少症の症状や治療法及び日常生活の中で誰にでも起こり得る病気である事を周知啓発していきます。

議員 市民の皆様には、脳脊髄液減少症の症状や治療法、日常誰にでも起こりうる病気であり、怠け

掲載以外の質問項目
◆子育て世代包括支援センターについて

議案 請願 陳情 番号	議決 結果	賛否数		議員名及び賛否の別																					
		賛 成	反 対	金 剛 寺	伊 藤	岡 部	石 引	久 米 原	山 宮	深 沢	札 野	福 島	山 崎	後 藤 (<small>光</small>)	滝 沢	坂 本	糸 賀	椎 塚	油 原	大 竹	後 藤 (<small>敦</small>)	寺 田	杉 野	鴻 巣	大 野
議16	可決	18	3	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○
議17	可決	20	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○
議18	可決	20	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○
議19	可決	20	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○
請 4	不採択	4	17	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	○	×	○
請 5	不採択	4	17	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	○	×	○
請 6	採択	17	4	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
陳 1	不採択	8	13	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	—	○	×	○

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

竜ヶ崎地方卸売

金剛寺 博 議員

市場の閉鎖問題について

議員 今回の閉鎖は卸売業者の竜ヶ崎青果の経営破綻が原因。茨城県南流通センターは開設者の役割を果たしてきたか伺います。

副市長 茨城県南流通センターの事務局も竜ヶ崎青果が務めており、信用していた点もあり、チェック機能を果たせなかった。

議員 生産者への対応、共同出荷、小規模市場などの検討について伺います。

市長 小規模な生産者のため、道の駅を待たずに直売所の設置を検討する。

「道の駅」物産販売に関する調査内容について

議員 11月に実施した農産物出荷希望調査と市内の生産団体の意向について伺います。

市民生活部長 調査では20件の応募あり、竜ヶ崎トマト・小菊については、今後、部会・JAと協議をしていく。板橋産直会が高齢者が多く課題がある。

市民生活部長 調査では20件の応募あり、竜ヶ崎トマト・小菊については、今後、部会・JAと協議をしていく。板橋産直会が高齢者が多く課題がある。

乳がん早期発見に向けて

久米原 孝子 議員

議員 乳がんは早期に見出し、適切な治療を受ければ高い確率で治すことができるといわれています。当市において乳がん検診の受診率をあげる取り組み、検診体制について伺います。

健康福祉部長 集団検診は土曜日、日曜日それぞれ1回の実施に加え、検診時には保健師がお子さんを預かるなど利便性の向上を図っています。また、検診技師などは女性スタッフに限定して実施しています。医療機関検診はそれぞれの医療機関に委ねている状況ですが、女性医師のみによる診察など乳がん検診がさらに受診しやすくなるよう要望してまいります。

議員 早期発見のため月一度の自己検診の意識付けが大切ですが、様々な検診などで推進をしてはいかがですか。

健康福祉部長 自己検診法について現在乳がん検診結



▲自己検診

議員 ある自治体では、がん教育の実施とともに中学校の保護者に向け乳がん検診の出前講座を実施し、自己検診で異常を把握してもらうため「乳がん自己検診補助グローブ」を配布しています。毎年2000枚程度活用されています。当市でも意識啓発のため、乳がんグローブの導入を要望します。

掲載以外の質問項目

◆地域の要望への解決策について

◆牛久沼水辺公園の活用について

災害情報について

札野 章俊 議員

議員 地震において体感した震度と発表された震度と違なる場合があります。地震情報はどのようにして収集し、発表されますか。

危機管理監 市役所敷地内南庭に設置されている震度計により計測した震度を気象庁に自動送信され、放送局等に自動で伝達される仕組みとなっています。

議員 市の危機管理室はどの段階でアクションを開始されているのでしょうか。

危機管理監 震度4が発生した場合は、警戒本部を立ち上げ、各関係機関と連携し、被害状況等々、問い合わせに対応します。震度5弱の場合は市長を長とする災害対策本部を立ち上げ、震度5強の場合は地域の状況を確認する体制を整えています。

外国人に対する行政サービスについて

議員 外国人用に主要な外国語での行政サービスの案内が必要と考えますが。

市民生活部長 複数の言語に対応したご案内については、他の先進地の取り組みについて情報収集を行い、有益な情報を整理します。自治組織に関する情報提供のあり方についても、あわせて検討してまいります。

議員 災害時にはどのような外国人に情報を伝えていくのか。

危機管理監 英語などによる防災行政無線放送や広報車等による情報周知を実施したいと考えております。今後は市公式ホームページや外国語でのメール配信など、外国人の方にわかりやすい情報発信等について調査研究してまいります。

掲載以外の質問項目

◆市職員の業務時間について

(株) 茨城県南 大野 誠一郎 議員

流通センター廃止の経営責任は？

議員 (株) 茨城県南流通

議員

センターの過去の貸借対照表を見ると未収金が698万で、現在3400万。短期貸付金が現在3200万。(株) 茨城県南流通センターの社長である市長は最近までこの事を把握していなかったというが、短期貸付金の社長決裁はしていたのか。

副市長 短期貸付金については、平成15年から行われてきたが、短期貸付についても事務局が運営していたところから、社長決裁等の手続もなく行われてきたと思っています。

議員 竜ヶ崎地方卸売市場の経営責任について、市長は(株) 茨城県南流通センターの取締役社長としてどのように認識しているか。

市長 結果として、市場を廃止することになりました。おわびを申し上げなければならぬと考え

◆掲載以外の質問項目
◆新しい農業委員会制度について

山宮 留美子 議員

高齢者ドライバーの現状について

— 今後の市内公共交通の取り組みは —

議員 市内における高齢者の交通事故数の推移と事故の内容についてお聞かせ下さい。

市民生活部長 竜ヶ崎警察署管内の65歳以上の高齢者事故の合計は、平成23年が46件、24年が82件、25年が52件、26年が53件、27年が79件、28年が10月末現在で116件です。

本年になって急激に増加しています。事故の内容は、四輪車同士の追突事故が最も多く、次いで四輪車同士の出会い頭による事故が多い状況です。

議員 高齢者の交通事故の減少や、若い人たちに住みやすくする為に今後の公共交通の取り組みが最大の課題になると思います。今後の取り組みについて考えは。

市民生活部長 コミュニティバスの増便を見据えた運行計画の見直しや、乗合タクシーの充実、ノ



▲住んで良かったと思える公共交通の取り組みを

ンステップバスの導入促進、更にバスロケーションシステムの導入等、きめ細やかなサービスの提供に努めてまいります。

議員 今現在、乗用車に乗れているも、いつ何があるかは誰もわかりません。龍ヶ崎市に住んでいて良かったと言える取り組みを早急によりしくお願い致します。

◆掲載以外の質問項目
◆市民窓口ステーションについて
◆駅前こどもステーションについて

市場廃止による 油原 信義 議員

生産者等への対応策は！

議員 竜ヶ崎地方卸売市場が平成28年12月15日をもって廃止となりますが、これまで竜ヶ崎地方卸売市場へ出荷していた生産者、市場内の仲卸業者、市場での買受人への対応について市長の基本的考え方をお伺いします。

市長 生産者などに対しては、近隣市場への出荷や買受ができるよう対応を行っているところです。今後開設する直売所など新たな販売流通について検討し、生産者などの対応に力を注いでいきます。

議員 畑作農家では、近隣市場へ出荷できる環境にある農家ばかりではない。千葉方面へ出荷するにはディーゼル車規制による設備投資が必要な農家や高齢化を考え、これを機会に畑作を縮小しようと考えている農家も少なくない。生産者の多くは一樣に集荷場の設置を希望しております

が、市の考え方について伺います。

市民生活部長 集荷する数量の確保、一定数量の集荷物が無い場合の運搬方法など、課題が多くあると認識しており、まずは近隣の市場を利用していただくための周知や調整を最優先で行っていきたくと考えております。

議員 生産者、仲卸業者、買受人への対応策として、小規模市場を設置してはいかがか。青果市場では政令規模330平方メートル未満が小規模市場となり、県知事への届け出となっております。市の考え方を伺います。

市民生活部長 民間において小規模市場を設置していきたいとの要望などがあつた場合には、市としても真摯に対応させて頂きます。

◆掲載以外の質問項目
◆道の駅事業の進捗状況について

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

伊藤悦子 議員

高齢者の居場所づくりについて

―支援事業が29年度より実施へ―

議員 高齢者が集える場所を作ってほしいと、強い要望があります。居場所の提供は、社会との関わりを深め、介護予防になります。地域福祉懇談会のテーマに行政の役割に居場所づくりの支援があります。今後の計画と学校の使用について伺います。

健康福祉部長 高齢者の社会参加と地域の支え合

学校トイレの改修は

議員 文部科学省の調査では、公立小中学校の洋式トイレの割合は43・3%です。今の子どもたちの生活環境から洋式化が求められます。古い学校では「汚く、臭い」の声があります。洋式化を含めたトイレの改修計画を伺います。洋式化は和式との併用も大事です。

教育部長 市内小中学校

新都市拠点開発

大竹 昇 議員

エリア事業調査結果について

議員 基本構想のコンセプトについて、どこの地域との連携で、持続可能な都市の創出が可能になるのか。

都市環境部長 本エリアに商業や公共施設などの集約を図り、中心拠点とし、4つの市街地間との連携を図り、龍ヶ崎市市街地ともソフト・ハード両面から連携し、検討してまいります。

議員 事業手法の検討結果について、その後の土地利用者や進出企業との協議内容をお聞かせください。

都市環境部長 実現可能な事業手法として、土地区画

議員 昨年度より見直している農業振興地域整備計画の概要についてはいかがか。

市民生活部長 竜ヶ崎駅北地区を新都市拠点開発エリアと位置づけ、龍ヶ崎戦略プランや都市計画との整合を図り、地域の農業振興の上で必要とされる農地を農用地区域へと編入し、9月

1日付で公告を行いました。

議員 実現性の検証に関して、行政負担額として最大額が18億1200万円ですが、その根拠を述べてください。

都市環境部長 土地区画整理事業費を算出した結果、42億円となり事業化への考え方として保留地の売却益で賄えない場合の一部負担を想定しての最大額です。

議員 概算事業費の積算で合算減歩率を50%とした場合の施工後坪単価が11万6000円であるが、竜ヶ崎駅周辺の路線価額はいくらですか。

都市環境部長 竜ヶ崎駅から市役所間の都市計画道路昭和通り線では、1㎡あたり1万8900円となっております。

議員 坪単価に直すと約6万2480円になり想定価格の1・8倍です。土地所有者にリスクが生じないようにする方策をお聞かせください。

議員 子どもたちは地域の宝です。地域の宝である子どもたちに「自慢したくなるふるさと」と思ってもらうためには、まず、龍ヶ崎のことをよく知ってもらう必要があると思います。龍ヶ崎の歴史・文化・農業・産業や、市の仕組み等、様々なことをよく知ってもらい、子どもたちに感じてもらうこと。これが龍ヶ崎を誇りに思える、つまりシビックプライドの醸成にもつながることなのだと考えます。

龍ヶ崎を知ってもらう教育について

石引礼穂 議員

議員 大人になっても龍ヶ崎に住みたい、龍ヶ崎で仕事をしたい、龍ヶ崎でお店をやってみたいというようなどんな夢を「この龍ヶ崎で叶えたい！」という子どもたちが、まちにあれば、こんなに素敵なことはありません。そのためにも、子どもたちが夢を持ち続けることができるよう、なまちづくりも、非常に重要だと考えます。

小・中学校における龍ヶ崎を知ってもらう教育の今後のビジョンについてお聞かせください。

教育部長 現在、小学校3・4年生が授業で使用する社会科副読本「わたしたちの龍ヶ崎」の4年ぶりの改訂に向け編集作業をしており、主体的に社会に参画する能力の基礎を育むという視点から、「これからの龍ヶ崎市」の単元をさらに拡充さ



▲龍ヶ崎を知ってもらう教育を

掲載以外の質問項目

◆龍ヶ崎の経済活動を活性化するためのプランについて

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

後藤 光秀 議員

ひとり親家庭への支援について

― 救済支援サービスの充実を ―

議員 ひとり親家庭への支援として、どのようなサービスがあるか現状をお伺いします。

健康福祉部長 児童扶養手当の支給や母子・父子・寡婦福祉資金の貸付制度、高等職業訓練促進給付金事業などがございます。

議員 国や県で様々な支援事業があると認識しているが、当市で行っている独自の事業は。

健康福祉部長 ひとり親家庭に対する支援制度は実施しておりません。これが現状でございます。

議員 高等職業訓練促進給付金事業は国家資格が対象で、子育て環境日本一を目指す当市として独自の支援サービスがあればと思います。例えば助成金の増額や民間資格を含めた幅広い支援サービスを提案します。

健康福祉部長 経済的、精神的にも不安を抱える家庭が多く、様々な支援が必要

である認識しております。ご提案の市独自のサービス創設について、先進事例などを参考にしながら研究してまいります。

議員 助成金の増額や民間資格を含めた幅広い支援サービスを逆に何故できないのか。シングルマザーの実態として、実は厚生労働省の統計データでは集計しにくいところがあると考えます。子育てをする上で社会的に強化すべき支援策といえ、相談が一番多かったお金のことで、親子の時間を守るための救済支援が必要で、子どもたちを守るためにも、その過程の先の先を見越した行政サービスを調査研究して頂き、龍ヶ崎市独自の支援サービスを改めて要望します。

掲載以外の質問項目

- ◆ サイクリングロード整備について
- ◆ 議場コンサート開催について

企業誘致について

滝沢 健一 議員

議員 未だもって企業誘致に結びついたという話が出てきませんが、企業からの進出のオフアアはあったのか。それともなかったのか。あったならば何故、進出に至らなかったのか、無いのなら何故なかったのかなど、

当市がこれまでどのような企業誘致に向けた取り組みを行ってきたのかお聞かせ下さい。

市民生活部長 企業誘致の取り組み状況についてであります。緑地面積率が緩和されたことにより、2社が敷地内に工場を増設し、1社が増設を予定している状況でございます。

これ以外にも敷地外増設の要望が2社、市外企業からの新設の要望が6社ございました。いずれにしましても、工場を立地するための未利用地がない状況であります。企業からの増設及び立地

について

についてはオフアアはあるものの、現段階ではそれらに十分に対応出来ない状況であります。

議員 企業誘致が進まない一番の理由は、用地の確保が出来ていない事であると思います。進出企業が6件もあつて1件も結びつかない。原因は何か。その要因を取り払っていかありません。特定の目的をなす為の部署の立ち上げを検討されてはどうか。企業誘致が現実のものとなるように強く要望いたします。

掲載以外の質問項目

- ◆ 国際大会における当市のキャンプ地誘致の進捗状況について
- ◆ ジュニア防災検定について

道の駅基本計画について

山崎 孝一 議員

議員 道の駅における牛久沼の利活用について、現計画では、細い敷地を利用し、湖岸に遊歩道を設置すると聞いてますが、大いに賛成するものであります。

しかし、牛久沼の観光資源としての活用は、長年の龍ヶ崎市の課題であります。例えば私が9月議会で提案させていただきました、中の島を利用した自然植物園、キャンプ施設や青少年の研究施設などの誘致も、どうか一蹴しないでいただき、検討材料に残していただき

たい。近隣住民を含めたりピーター、つまり人が繰り返し訪れてくれる拠点づくり、牛久沼の活用も視野に入れて、道の駅と同時進行すべきと考えますが、当市の見解を伺います。

総合政策部長 本年11月に策定した常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想においてもその活用方針等を策定しております。また、今議会

に上程しております第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおいても、牛久沼周辺を交流拠点に位置付け、その有効活用を目指すこととしており、道の駅の設置や水辺空間の有効利用などを施策としていくところです。

現在、当市として関係各課の連絡調整会議を立ち上げ、牛久沼活用全体計画の策定を進めております。いずれにしても、道の駅は牛久沼を活用していく上で重要な拠点と位置付けております。自然環境を保全しつつ、親水空間などの活用を図ることなどで、牛久沼が持つポテンシャルを活用して、地域活性化につながるよう検討してまいります。

議員 前向きに検討をお願いいたします。

掲載以外の質問項目

- ◆ 当市の枯草の現況について
- ◆ 牛久沼周辺の野焼について

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

竜ヶ崎地方卸売 後藤敦志 議員

市場の経営責任について

議員 県南流通センターの経営状態のチェックや指導、第三セクターの運営についてどのように関わっていたのか。

副市長 市場に関しては、第三セクターという会社形態であり、自治体と民間の共同出資によって施設整備を行って開設を行う。運営については100%民間で行うという形態で、行政では運営には全く関与してこなかった。

また、関係自治体の首長による経営のかかわりが希薄であったこともあり、県南流通センターの実質的な事務局を務めていた関係者を信頼し過ぎていたことも課題であった。

議員 県南流通センターから運営会社に対する未収金3400万円の短期貸し付けを、いつから把握していたのか。

市長 短期貸付金については説明をして頂いた記

糸賀 淳 議員

龍ヶ崎市の将来ビジョンについて

―財政と優先順位の観点から―

議員 竜ヶ崎駅北開発を事業化した場合、龍ヶ崎市の最大負担額は約18億円、第2次中期財政計画案によれば道の駅整備には約21億円、東口ロータリー改修と佐貫3号線には合わせて約9億円が見込まれている。財政上、大型事業を重ねて進めることには無理があり、その必要性についてもよく考えなければならぬ。そこには将来を見据えた戦略的な視点や、優先順位があつてしかるべきだと思うが、市長のご見解は。

市長 定住促進やにぎわいの創出などを目的とした各事業を計画している。それらの事業を一斉に推進するのは難しいことは認識している。限られた財源の中で本市にとって最大の効果を得られるよう、事業の規模や優先順位を見定めていかなければならないと考えている。例えば佐貫駅周辺整備などはこれから10年20年

かけて進めていかなければならないもので、いかに財政計画と齟齬のないように進めていくかが検討されていくことにはなると思う。

議員 これから本格的な人口減少が進んでいくと同時に、すさまじい勢いで高齢化も進む。これらのことは単純に言ってしまうと、これ以上住む場所や家屋は必要ないということだし、消費量はどんどん下がっていくということだ。そういう状況で、例えば佐貫駅周辺と竜ヶ崎駅北に同じような目的を持った都市拠点を2つ整備する必要が本当にあるのか。大量の消費活動がなければうまく回らないような商業施設が本当に必要なのか。市民の皆さんと一緒に考えていかなければならないのではないかと。

掲載以外の質問項目

◆農業政策課職員と農業委員会事務局の併任について

「道の駅」事業、杉野五郎 議員

急ぐな！財政が危うい！

議員 新規大型事業の財政収支への影響はどう認識されますか。

総務部長 基金へ過度に頼らず、安定的な財政運営を継続するため、第2次中期財政計画を策定中です。

議員 第2次中期財政計画の案では向こう10年後での累積赤字が38億円強、平成27年度決算時での一般基金残高64億円強が12億円強となり、52億円の激減ですね。次に「道の駅」事業の採算はどうなりますか。

総合政策部長 他の自治体の道の駅の状況は調査中です。採算性については一定程度の売り上げは見込めます。投資経費や経常経費について、施設規模や概算の事業費の算出作業と並行し管理運営計画について策定中で、来年2月中公表予定です。第2次中期財政計画案の中では他の道の駅の事例等を勘案の上、向こう3年間に20億8000万円



▲身の丈に合った優先度の高い事業展開を！

掲載以外の質問項目
◆当市の財政状況をどう考える（その3）

◆平成29年度予算編成における基本的考え方について
◆向こう10年財政収支見通し（条例に基づき公表）について

◆「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」について

一般質問

一般質問の記事は、
各議員が書いています

災害時の車中泊

坂本 隆司 議員

避難者への対応について

―熊本地震から学ぶこと―

議員 車中泊は被災状況にもよりますが、体育館や公民館に比べると車中泊はプライバシーが守られ簡単に移動ができ、広い車であれば騒がしい子どもやペットと他人に気兼ねなく生活ができます。これからは車中泊避難が増えてくると思われますが今後の対応は。

危機管理監 車中泊は大変危険なエコノミークラス症候群の発症や排気ガス吸入等の危険性がありますので、できるだけ車中泊は行わないように広報していきたいと思いますが、車中泊が確認された場合は、車中泊者の居場所を把握し、飲料水等の物資提供や、救護班、健康相談等に対応できるように検討していきたいと思っています。

議員 車中泊者は簡単に移動できることから、避難所にて食事の提供だけ



▲災害時の車中泊避難者への対応を

掲載以外の質問項目
◆龍ヶ崎市の文化財と歴史資料について

総務

龍ヶ崎市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についてほか、議案6件について審査しました。

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランについて

「自然環境の保全と活用の項目で、数値目標が設定されていないことについてお聞きします」との質疑に対し、「自然環境の保全と活用につきましては、都市計画マスタープラン2017の中でも明記し、景観行政団体への移行を考えております。具体的な施策につきましては、例えば牛久沼の水質改善などの目標設定なども含めまして、現在策定中の環境基本計画の中で検討してまいります」との答弁がありました。また、「キャッチフレーズ『人が元氣 まちも元氣 自慢したくなるふるさと 龍ヶ崎』を横断幕にして市役所や駅の正面に掲示するなど、アピールを工夫し、市民にキャッチフレーズのようなまちにしていくぞと思わせていく努力をしてください」との意見があり、賛成多数で了承しました。

文教福祉

龍ヶ崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてほか、議案7件、報告2件、請願3件について審査しました。

平成28年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第3号)の所管事項、総合運動公園リニューアル事業について

「バックスタンドの使用した大会ではお客さんも多いので、既存のトイレでは足りないと思います。そういった状況は年間何日ありますか」との質疑に対し、「バックスタンドの供用開始からJFLの大会が2回、小中学校の陸上記録会など年間数十日あります」との答弁がありました。また、「フィールドができてから小中学校の競技会が開かれています。トイレが足りない状況はありましたか」との質疑に対し、「関係者からそのようなご意見は伺っていません」との答弁があり、さらに、「仮設トイレで対応できるのではないのでしょうか。この建設工事について反対します」との意見があり、賛成少数で否決しました。

環境生活

龍ヶ崎市農業委員会の委員及び龍ヶ崎市農地利用最適化推進委員の定数を定める条例についてほか、議案6件、報告1件、陳情1件について審査しました。

平成28年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第3号)の所管事項、公共交通対策費について

「県南地域公共交通確保対策協議会への龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、阿見町、美浦村における広域路線バスの3路線4往復の実証運行に関する費用負担ですが、事業の経緯経過を伺います」との質疑に対し、「今年度、県の新規事業として、地域公共交通確保対策事業の一環で、県南以外に県北、鹿行、県西でも協議会が組織され、広域での公共交通ネットワークを検討しております。国、県、県南の関係市町村、公共交通の事業所を加え協議を行い、ルート、便数などについて、3回の協議会と4回の事務協議等のなかで各路線、4往復8便を決定しました」との答弁があり、全員異議なく了承いたしました。